

松岡正彦
議員

- 岡崎町長 再選出馬の意向を問う
- 事故多発、小交差点に信号機の設置を
- 低学年の児童にも「わかる」標識を

「岡崎町長」の再選出馬を要望し、その信念を問う

Q 町長は、「合併までの2年間だけ」と思い出馬されたようだが、合併がなくなり単独で行くと決まってしまうから、町財政を立て直し、第4次総合計画の後期計画の見直しなど少し明るさも見えて来た。町民の先頭に立って、幸せな暮らしができる町づくりをめざし、再選に出馬された

A 充実した少子・高齢化対策、企業誘致、産業振興、道路整備、トンネルの早期開通、「道の駅」の整備、観光交流産業、防災対策、そして、近鉄の存続問題など一層の行財政改革を進め、住み良い池田町をつくりたい。

町民の皆さんの信任をいただければ、2期目の町政運営に携わりたい。

小さな交差点にも、拘束力のある信号機を望む

Q 町内の小さい交差点に、栄町にあるような一灯式の点滅信号機を付けてはどうか。

A 県として、数年前より一灯式の点滅信号機は設置していない。その代わりに「止まれ」の三角の標識で自発光式のものな



栄町交差点

どがあるが、規制もあることから、公安委員会や地域の皆さんと話し合って進めてゆきたい。

低学年の児童にも「わかる」標識を

Q 通学路の道路標識「止まれ」・「危ない」などは、小学一年生、二年生には読めない。平仮名に

してはどうか。

A 入学式など、保育園も含め小さいうちから標識をよく説明して関心を持たせ、また、理解してもらえようという講習も重ねて進めたい。



低学年にもわかるかな？